



黒木地区コミだより No.105

発行月:令和4年1月発行
発行元:黒木地区コミュニティ協議会(55-0051)

やどめ

本年もよろしく
お願いします♪



★ 祁答院町の人口 男1,472人 女1,675人 計3,147人 世帯数 1,626世帯
★ 黒木地区の人口 男 277人 女 339人 計 616人 世帯数 309世帯 (1月1日現在)

新年のご挨拶

黒木地区コミュニティ協議会会長 内ノ倉 正己

地区の皆様、新年明けましておめでとうございます。
健やかに新春を迎えられたこととお慶び申し上げます。今年も昨年に増して健康で安心・安全な暮らしをご祈念しております。

新型コロナウイルス感染症の発生状況は、12月の始め頃には大幅に減少しましたが、その後、新型オミクロン株が発生して世界中に拡大しており、日本でも「感染第6波の拡大」が懸念されております。3回目のワクチン接種や国産の特効的ワクチン開発、感染防止対策などを講じて、早期に収束することを祈るばかりであります。また、毎年のように発生している自然災害、静岡県熱海での土石流の発生による多数の住宅や住民が流される被害がありました。地区内では台風や豪雨災害などによる自然災害が無かったことが幸いであります。そして今年も、色んな物価の値上げがありそうと、日本経済回復と日常生活の安定を願うところであります。

昨年はコロナ禍のなかで、4月地区の通常総会は代表者による総会、各自治会も書面議決による総会、8月恒例の「第51回夏祭り」、10月の「校区運動会」などのイベント・会議の中止や会議は規模縮小や回数を制限して開催いたしました。幸いに12月の「暮れ市」は感染者数が減少したことから唯一開催できました。催しとして【祁答院中学校吹奏楽部・入来町心響太鼓】の演奏、【青壮年部】の手踊り、【新鮮野菜・海産物・花の苗】の販売、【田の神餅・豚汁】の無料配布などを行ない約350名の参加があり喜んでもらいました。

また、東京オリンピックの原則無観客開催があり、日本は史上最多の58個のメダルを獲得する日本選手の活躍や、米国プロ野球大谷翔平の二刀流でメジャーMVPの活躍などで【元気や希望】をもらいました。

最後に、地区コミュニティ協議会は、皆様ひとりひとりの協力により運営されています。今年もコロナ禍に負けず、黒木のイメージキャラクター「クロちゃん」と一緒に、地域の活性化のため、多くの地区民参加による「元気のある町づくり」を推進しますので、一年間ご指導ご協力をよろしくお願い致します。

黒木分団の皆様、いつも地域の為にありがとうございます!!

12月28日(火)・29日(水)の2日間市消防団の年末特別警戒が実施されました。また、1月8日(土)に川内川河川敷にて消防出初式が開催され、黒木分団では6名の方が表彰されています。

健康にご留意され、これからもよろしくお願い致します。

☆ 薩摩支部長表彰(15年) ☆
福永 様(団員)

☆ 市長感謝状【在団20年の団員の家族に対する感謝状】 ☆
吉住 様 高柳 様 平松 様 増田 様 団様



年末特別警戒の様子

黒木ぶらり探検 ～参～



一本松から小牧に抜ける道の途中で度々目撃されているキジ科のこの鳥は長い尾とオスの腰部が白色という特徴からコシジロヤマドリと呼ばれ、鹿児島・宮崎・熊本九州南部にしか生息しない鳥でお隣宮崎県の県鳥に選ばれ、現在は環境省レッドリストで準絶滅危惧種に指定されています。

非常に縄張り意識が強く、特に繁殖期には縄張りの維持に躍起となり人間や車などにも駆け寄り激しく威嚇するそうです。黒木で目撃されている鳥も縄張りに入って来た車などを追いかけてきたりすることがあるそうですが、逆に人間の近く寄ってくることもあるとか…。

貴重なこの鳥を傷つけることなく見守っていきたいものです。

第12回黒木の暮れ市開催

12月18日(土)、2年ぶりに黒木の暮れ市を開催いたしましたところ地区内外から多くの皆様にご来場いただき大変賑わいました。

地域づくり部会を中心に出演団体の皆様をはじめ、各自治会長や食生活改善推進委員、生活研究グループ、青壮年部、中学生ボランティアなど地域の皆様からご協力いただき、改めて地域の強い団結力を感じました。

テレビでイベント情報をご覧になり鹿児島市からお越しくださった写真愛好家の女性から後日、お便りをいただき、その中には撮影された暮れ市の写真と、田の神餅や豚汁がとても美味しかったこと、地域がまとまって活性化しており、コロナ禍で2年近く祭りなどがなかったので元気を貰いましたという嬉しいメッセージを頂戴し、本当に開催してよかったと感じました。ご協力いただいた皆様ありがとうございました。



第42回 ふるさと歩こう会



1月16日(日) 第42回黒木ふるさと歩こう会を開催しました。コミセンを出発し、西南の役薩軍敗走路→高崎畜産→小牧・鈴連滝→一本松→コミセン着のコースで約2時間。約7.5キロ12,000歩あまりのコースでした。残念ながら今回は途中でコシジロヤマドリの姿を実際に見ることはできませんでしたが撮影された写真を準備して下さった方から見せていただきました。

途中、空き缶・ゴミ拾いをしながらでしたが、参加された約25名が全員無事に完歩されました。(今回の参加者最年少は5歳!最後まで頑張ってくれました♪)

コミセンに到着後には母子寡婦会の皆さんが準備された「ぜんざい」や「お漬物」を美味しくいただき、冷えた身体を温めてもらいました。

今回は残念ながら学校行事等と重なったこともあり、子供の参加が3人でしたが、この3人が参加してくれたおかげでとても場が和み、お互い励まし、励まされながら歩いていきました。コロナ禍にあり多世代での交流が、難しい状況ではありますが地域の宝、子供たちの成長と笑顔を見守っていきたいものです。

